

福岡市科学館の概要

運営の基本事項

赤字：要求水準書を上回る事業者独自の提案

① 休館日

休館日	毎週火曜日 及び 12/28～1/1	■火曜日が祝日の場合は開館し、翌平日を休館 ■春休み、GW、夏休み、冬休み（年末年始を除く） 期間中は毎日開館
-----	--------------------------	---

② 開館時間

階層	諸室		開館時間	
6階	ドームシアター (プラネタリウム)	日～ 木曜	9:30～ 18:00 21:30	夜間貸館を実施 夜間投影時間を 延長
		金・ 土曜	9:30～ 21:00 21:30	
	サイエンスホール		9:00～22:00	
5階	基本展示室		9:30～18:00	無料で利用できる スペースは夜間も 延長して開館
	オープンラボ		9:30～ 18:00 21:30	
4階	情報ライブラリー		9:30～ 18:00 21:30	
	実験室等			
3階	企業出展ブース		9:30～ 18:00 21:30	
	企画展示室		9:30～18:00	

※基本展示室及び企画展示室については夏休み期間中の開館時間を
一時間延長

③ 料金設定

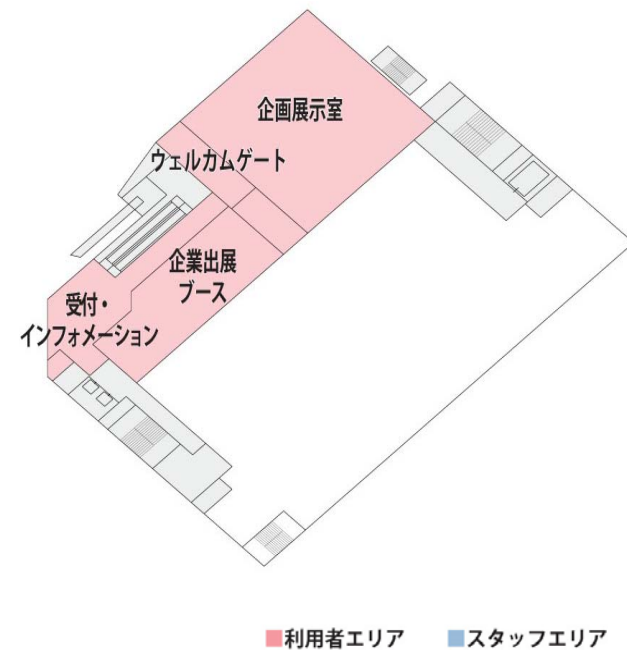
入館者属性	基本展示室		ドームシアター（プラネタリウム）	
	個人	団体(30名以上)	個人	団体(30名以上)
大人	500円	450円	500円	450円
高校生	300円	270円	300円	270円
小中学生	200円	180円	200円	180円
4歳以上	200円 無料	180円 無料	200円 無料	180円 無料
3歳以下	無料	無料	無料	無料

※学校団体及び障がい者の利用については全額減免

※市内小中学生には年に1枚無料招待券を配布

3階 ウェルカムフロア

施設概要



企画展示室

- 二層分の高さの空間を活かした大空間では、ロケットや大型恐竜などの大規模展示に対応
- 企画展と連動して、サイエンスホールのサブ会場としての利用やドームシアターで関連番組の投影等を実施



ウェルカムゲート

- 科学館入口正面に壁面を利用したダイナミックな映像を展開
- 企画展と連動した映像や来館者の動きに反応するインタラクティブ（双方向）映像等の様々なコンテンツにより、おもてなしを演出



受付・インフォメーション

- ローカウンター設置やサイネージを活用した多言語対応等のユニバーサルデザインを導入



企業出展ブース

- 福岡にゆかりのある企業が新しい技術等を発信する場



運営概要

科学になじみがない人も来たくなる、話題性のある企画展を開催

企画展示室では、春休みや夏休み、ゴールデンウィークなど、時期ごとにターゲットを設定した企画展を開催！

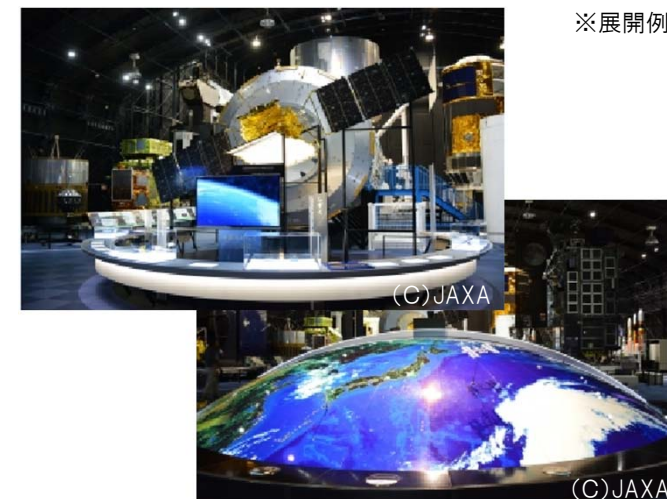
宇宙展や恐竜展などの、話題性があり集客力の高いプログラムを実施し、科学館に来たことがない人の来館を促進し、利用者層の拡大を図る。

大型展示を年2回、中型展示を年2回以上実施

※開催計画(案)

3月末～5月初旬	6月	7月中旬～8月末	9月中旬～9月末	2月中旬～3月初旬
春の大型企画展	6月期中型企画展	夏の大型企画展	秋の中型企画展	年度末中型企画展

宇宙に関する企画展の例



※展開例

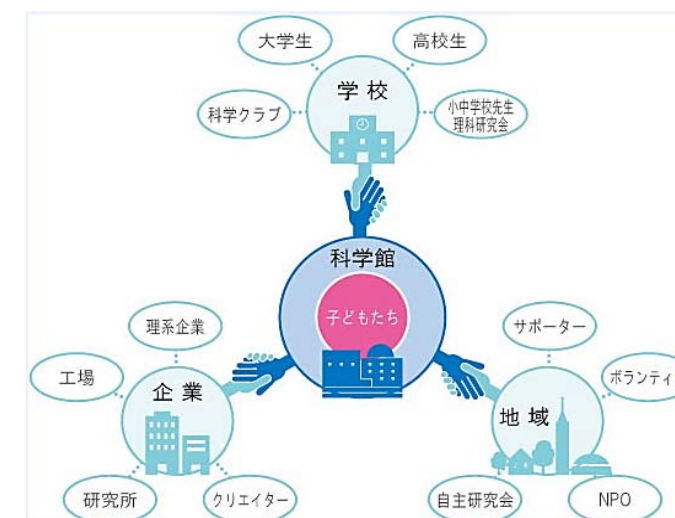
恐竜に関する企画展の例



福岡の人材・資源をフル活用。企業と大学をつなぎ、学びを福岡全体でバックアップ

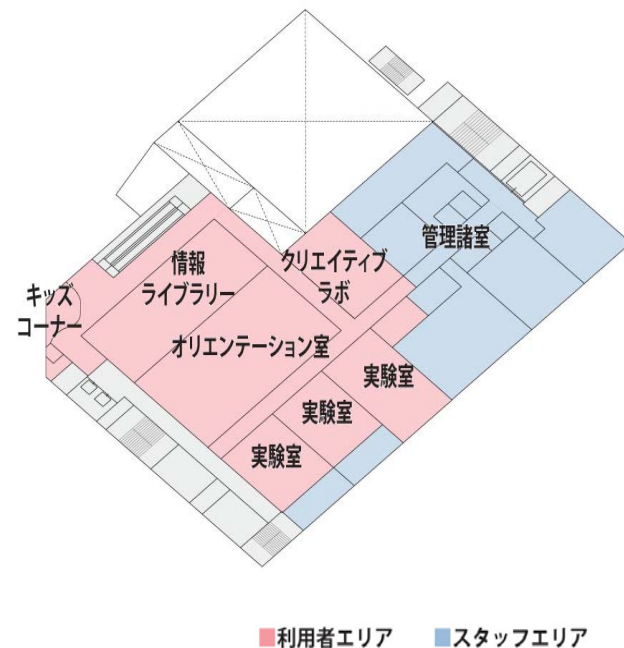
「学校」「企業・地元クリエイター」「地域」等による科学館連携ネットワークを組織し、講師派遣やイベント協力など、子どもたちの学びを福岡全体でバックアップ！

企業出展ブースでは、福岡の大学・研究機関と連携する企業や、地元の企業を積極的に誘致し、科学的な切り口から、企業が有する技術の特性や機能を、体験型展示を中心に展開！



4階 活動のフロア

施設概要



情報ライブラリー

- 蔵書30,000冊のほか電子書籍5,000冊を展開
- 幼児向け読み聞かせコーナーは同じ階のキッズコーナーと連携して運営
- 「連想検索システム」は興味ある単語から幅広く書籍を検索。福岡の観光情報検索にも応用し、観光案内機能としても活躍



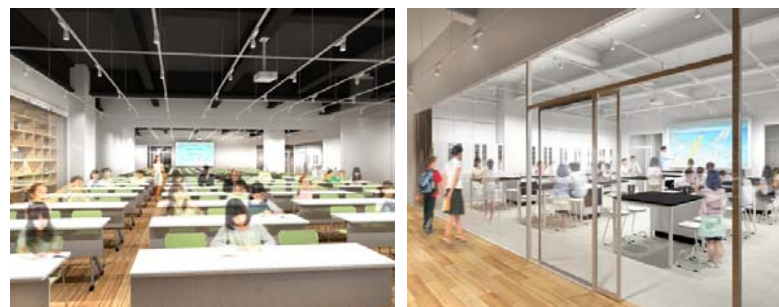
クリエイティブラボ

- 新しい展示やドームシアター番組を開発するラボには最新の機材を配置し、地元のクリエイターや科学関係団体等も利用
- 壁面をガラス張りにし、来館者が室内の活動を見学可能
- 子どもや市民も開発に携わる参画の場としても展開



オリエンテーション室・実験室

- 一日学習やクラブ活動等に使われるスペースは開放的な空間
- 講師の実験を投影できるモニター等を整備するほか、実験教材は高校の理科にも対応

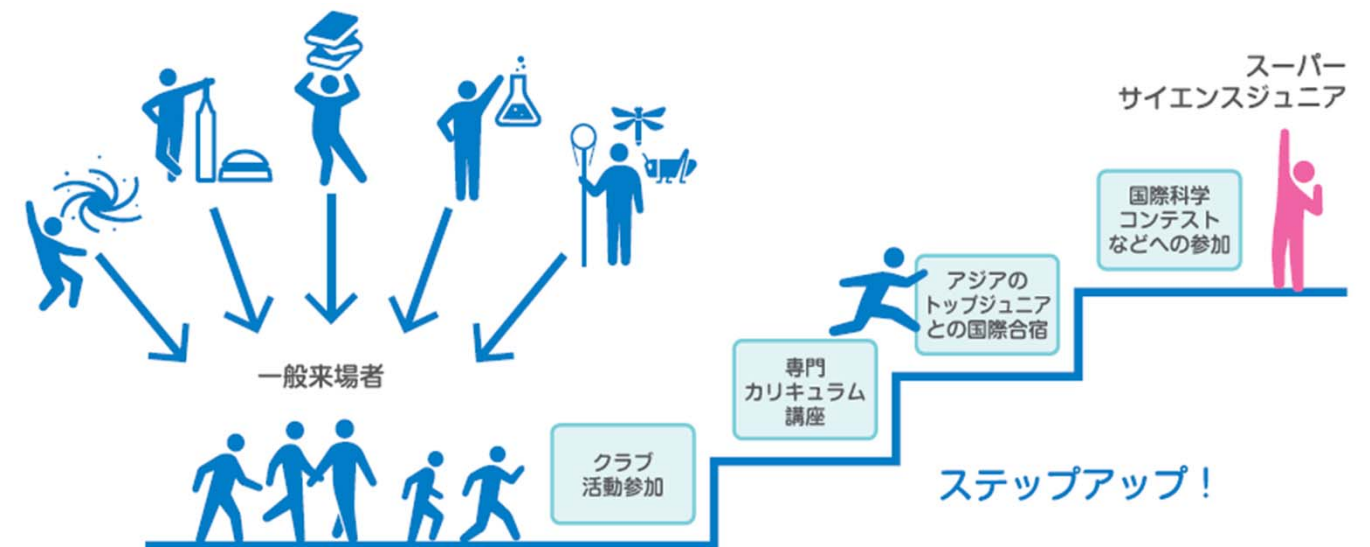


運営概要

学校の教育に連動したプログラムから知的探求心を満たす専門的な講座まで幅広く提供

学校が行う一日学習の科学館内での受け入れなどの、学校の教育に連動したプログラムはもちろん、科学館での体験を通して**科学への興味・関心を醸成**するようなプログラムを提供。

さらに、最新の科学が学べるクラブ活動や、科学のおもしろさを体験できる、**連続性のある講座**を豊富にラインナップし、国際科学コンテストを目指すような**“スーパーサイエンスジュニア”**育成システムを導入！



研究者やクリエイターが常駐し、市民参画型のコンテンツ開発拠点を整備



【ドームシアター番組制作イメージ】

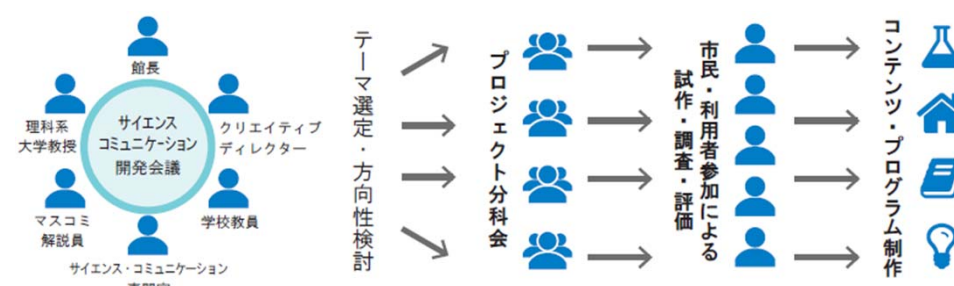


【ドーム工房】
ドーム径3mの機材を整備し、試作した番組の映像を確認しながら制作できる。

クリエイティブラボでは、地元クリエイターが日常的に使える**コンテンツ生産設備**を内包した専用ラボを整備！

科学館スタッフが、クリエイターや市民のドームシアター番組等の自主制作をサポートし、**人を育てる制作体制**を構築！

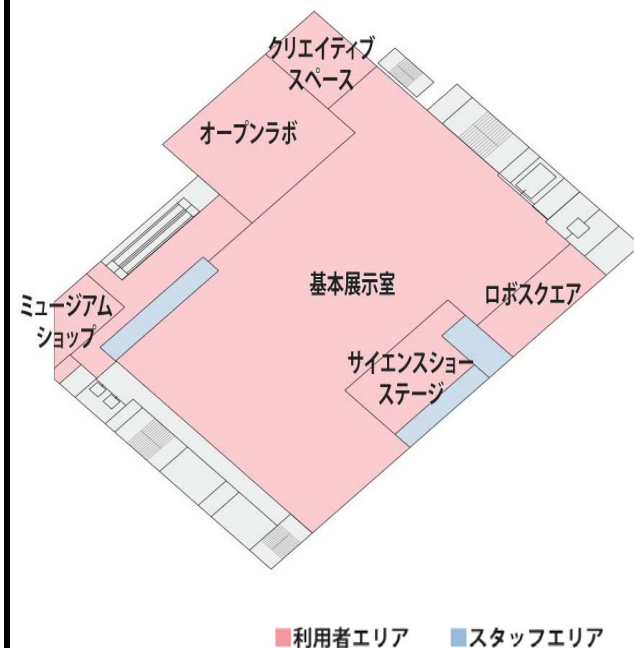
大学の研究成果やクリエイターの技術を活かす日本初の共同開発システムを導入



大学やクリエイターなどで構成する“サイエンスコミュニケーション開発会議”を設置。市民意見を取り入れながら、展示やワークショップなどのコンテンツ開発において、**科学の「いま」を発信！**

5階 感じて試して創造するフロア

施設概要



サイエンスショーステージ

- 最大100人収容の大空間では、火気や水も使った本格的な大規模実験にも対応



ロボスクエア

- 現ロボスクエアの理念は継承しつつ、サイエンスショーとの連携や体験の充実により機能拡充



基本展示室

- ワンフロアに展示を展開することで、連続性・一体性のある空間を創出
- 展示物の解説・見え方等について、すべての人に配慮したユニバーサルデザインを導入



クリエイティブスペース

- 最新デジタル機器を備え、デジタルエンターテインメントを体験



オープンラボ

- 「木工・金工ラボ」「デジタルラボ」「フリーラボ」「メディアスタジオ」の4つの機能・区分により整備



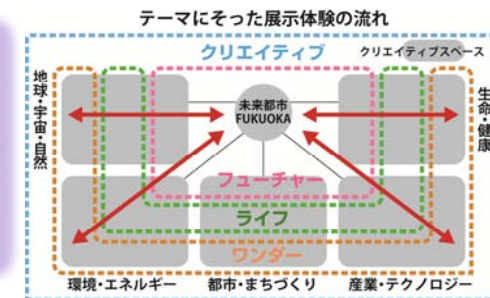
運営概要

広い基本展示室では、5つの分野を過去から未来へとストーリー形式で紹介

非日常的空間を演出するダイナミックなジオラマや頭と体を使って学ぶ参加体験型の展示を配置！
順路を設定しつつ自由に学べる構成とするとともに、来場者の“なぜ”に応えるコミュニケーションスタッフや実験を行うワークショップテーブル等を設置！



地球・宇宙・自然



生命・健康



環境・エネルギー



都市・まちづくり



産業・テクノロジー

展示だけでない、科学の楽しさや驚きをライブに体験する様々な仕掛け

サイエンスショーでは、テレビでしか見られないような実験を披露し、有名人によるショーについても計画。また、事業者グループに名を連ねる放送局との連携イベントも実施！



オープンラボでは、家庭ではできないような木工や金工、デジタル工作なども指導員常駐のもとで体験。分野ごとに個別に仕切られ、作業環境も良好！



木工・金工ラボ



デジタルラボ



フリーラボ



メディアスタジオ



ミュージアムショップでは、充実したラインナップとオリジナル商品開発により、館外にも話題性を発信！



施設概要



サイエンスホール・ホワイエ等

- 座席数300席は可動式で平土間にも変更でき、企画展のサブ会場やロボカップ等の大規模イベント会場としても使用
- 舞台機構・音響性能等は講演会、セミナー、演劇等の様々な利用形態に対応
- 4KのVR（バーチャルリアリティ）映像システムを設置し、ドームシアター等との連携企画を上映
- ホワイエは、サイエンスホールと一体的に利用して、講演会・セミナー後の意見交換会・懇親会等の場としても利用
- 科学館で使用しない日は一般貸出を実施
- 貸出しに配慮したバックステージには複数の楽屋やトイレ、シャワー室を整備

ドームシアター（プラネタリウム）

- ドーム径25mとしては、十分ゆとりのある座席数220席（車いす対応12席）
- 自然に限りなく近い星空を再現する最新光学式投影機と8K相当の高解像度デジタル式投影機の統合で、迫力と超臨場感の映像を表現
- 赤外線補聴システムにより、聴覚に障がいがある方や外国語に対応



【通常利用時】



【平土間利用時】



運営概要

誰もが何度も足を運びたくなる、これまでにない投影プログラムを提供



ドームシアターでは、宇宙の最新情報を紹介するとともに、**福岡発**の自主制作番組を年間4本ずつ提供する。
生解説を基本に、学習映像からエンターテインメント性のある夜のスペシャル番組まで、**大人も楽しめる、いつ来ても新しい投影プログラムを計画！**

【プログラムの展開例】



宇宙との交信イベント



ドーム映像と音楽の融合

高画質・高精細の映像システムをもつ多目的ホール

サイエンスホールでは、**見ることができないものを可視化し**、映像の中をウォークスルーできる「VR」※の特性を活用し、圧倒的な**臨場感と没入感**のある映像ホールとしての機能を強化！
多様なプログラム・演目を4K映像にて提供！

※「VR（バーチャルリアリティ）」・・・CGや音響効果を組み合わせて、実際にその場にいるかのような3次元空間を作り出し、臨場感と没入感のある仮想体験を提供する技術。



時空を超え、400年前の安土城を体験

現存しない文化遺産などをVR技術で再現



宇宙飛行士疑似体験

コントローラーでVR映像中のロボットアームを操作



科学のレセプション

全国の研究者の方々に科学館に招致し、最新のサイエンスを福岡から発信